

準備:



ホイール初期状態



機械技師

- ・金の装置8つをシャッフルする。
- ・裏向きに2枚ずつ4組に分ける。
- ・1組を「チームワーク」用に脇に置く。
- ・3組はカード列の上に以下のように置く。
- ・ラスティはIIIのスペースに置く。



金の装置の追加

I, III, Vの各ラウンドのカードを引いた後、そのラウンドの金の装置2枚を公開し、そのうち1つを選んで自分のマシンの任意の空きスペースに配置する。

ボードの脇の1組は「チームワーク」により追加できる。

マシン

ホイールを時計回りに90度回す。右側の2つの銀の装置のうち1つを選ぶ。

ホイールを時計回りに90度回す。この時点で右側に金の装置がある場合、その効果か、その脇の両方の銀の装置を使う。金の装置がない場合、2つの銀の装置のうち1つのみを選ぶ。



猿のラスティ:

ラスティはIIIラウンドの開始時に獲得する。彼は他の助手と同様に機能する。

初期カードに関するメモ:

この効果は、マシン上の金の装置の数で決まる。

1つの場合、を得る。

2つの場合、かかを選ぶ。

3つか4つの場合、3つの選択肢がどれでも実行できる。



新たなアイコンとルール:



青の偶像効果を使う場合、偶像を青の枠に置く。

青の枠は通常の効果のためにも使用できる。

すべての偶像枠は任意の順で使用できる。

キャンペーンでは、業績カードを得ていずれかのプレイヤーのデッキの一番上に置く。

デッキの一番下からカードを1枚引いてよい。

使用済の守護者1枚を表向きにして、その恩恵を再び使えるようにしてよい。

自分が撃退した未使用の守護者を1つ選び、恩恵を使用せずに裏向きにする。

任意の の場所1つを起動する。

任意の発見済みの の場所1つを起動する。

滝の寺院:隠された場所を1枚選んで起動し、取り除いて通常のスタックの一番下に戻す。

サプライボード上の入手可能な 1人の銀の側の効果を使用する。

サプライボード上の入手可能な 1人の金の側の効果を使用する。

指定の章の遭遇カードを1枚引いて処理する。

ボード上の任意の表向きの偶像1つの効果を使用する。表向きの偶像がない場合、効果は無い。

準備:



ランダムな新聞タイル2枚をボードにはめる。

- や の各場所に記事トークンを1つずつ置く。
- 2枚(2人ゲームなら3枚)を自分のボードの切り欠きに置く。



新聞記者

執筆の先行:



あなたの は より1列先に進める。

記事の執筆:



フリーアクションとして、自分がいる場所の移動アイコン1つを支払う。その場所の記事を取って物資箱に置く。

切り欠きに置かれた2つ(または3つ)の記事は**特集記事**である。これは「調査」を使って執筆する。

発行:

新聞アクションを使用する場合、その上に執筆した記事を置く。これは が無いかぎりメインアクションである。

各新聞タイルは、まず上段から開始しなくてはならず、直前の段の両方のアクションを使わないかぎり新たな段は使えない。

2つの偶像スペースは、その段の4つすべての記事を発行した時点で解放される。



初期カードに関するメモ:



この効果は、執筆した記事の数で決まる。

0か1つの場合、 を得る。

2つか3つか4つの場合、 か から選ぶ。

5つ以上の場合、 と の両方を得る。

新たなアイコンとルール：



青の偶像効果を使う場合、偶像を青の枠に置く。

青の枠は通常の効果のためにも使用できる。

すべての偶像枠は任意の順で使用できる。

2つの青い偶像スペースは、その段の4つすべての記事を発行した時点で解放される。



キャンペーンでは、業績カードを得ていずれかのプレイヤーのデッキの一番上に置く。



デッキの一番下からカードを1枚引いてよい。



使用済の守護者1枚を表向きにして、その恩恵を再び使えるようにしてよい。



自分が撃退した未使用の守護者を1つ選び、恩恵を使用せずに裏向きにする。



任意の の場所1つを起動する。



任意の発見済みの の場所1つを起動する。



滝の寺院：隠された場所を1枚選んで起動し、取り除いて通常のスタックの一番下に戻す。



サプライボード上の入手可能な 1人の銀の側の効果を使用する。



サプライボード上の入手可能な 1人の金の側の効果を使用する。



指定の章の遭遇カードを1枚引いて処理する。



ボード上の任意の表向きの偶像1つの効果を使用する。表向きの偶像がない場合、効果は無い。